

京都大学教職課程 履修カルテ（単位修得状況）

農 学 部 （平成 12 年度以降入学者）

所属：	入学年度：				
学生番号：	氏名：				
大学院生・科目等は出身学部：	大学	学部	学科	年入学	年卒業
取得希望免許： <input type="checkbox"/> 中学校教諭一種・理科 <input type="checkbox"/> 高等学校教諭一種・理科 / 農業 / 水産					

- 教員免許を取得するには、所属学部の教務掛において「単位修得状況調 A 票」と免許取得希望教科に対応する「単位修得状況調 B 票」を入手し、修得年度と単位小計を書きこみつつ、必要な単位がそろうように履修すること（科目名変更が行われた場合は、「備考」欄に書き込むこと）。
- 免許申請に際し、所属学部の教務掛に「学力に関する証明書」の発行を依頼する場合、または「教育職員免許状授与一括申請願」を提出する場合は、「履修カルテ（単位修得状況）」（「単位修得状況調 A 票・B 票」を含む）を添付して申し込むこと。

【確認事項】 ※達成できた項目の□を■に変えること。該当しない項目は取り消し線で消すこと。

1. 下記の単位を修得したか（別表第 1 備考 4 号確認）。

- 「日本国憲法」2 単位以上
 - 「体育（運動科学、体力医科学、24 年度以降修得の健康科学、運動医科学、27 年度以降修得の運動科学 I、運動科学 II、健康科学 I、健康科学 II、健康心理学 I、健康心理学 II）」2 単位以上
 - 「体育（スポーツ実習 IA・IB・IIA・IIB）」1 単位以上
 - 「外国語コミュニケーション」2 単位以上（科目によっては、1 科目 1 単位の場合があるので、注意すること）
 - 「情報機器の操作」^(注1) 2 単位以上（科目によっては、1 科目 1 単位の場合があるので、注意すること）
- (注 1) 「情報機器の操作」に該当する具体的な科目名については、掲示で確認すること。

2. 教育実習・介護等体験について、下記の条件を満たしているか。

- （中学校教諭一種免許取得希望の場合）「介護等体験（特別支援学校・2 日間）」を終了した。
 - （中学校教諭一種免許取得希望の場合）「介護等体験（社会福祉施設等・5 日間）」を終了した。
 - 教育実習 I・II の履修に際し、教育実習オリエンテーションに参加した^(注2)。
 - 教育実習 I・II の履修に際し、教科別の事前指導・事後指導に参加した^(注2)。
- (注 2) 2 年度に分けて教育実習に行く場合は、2 年度とも参加すること。

3. 「教職に関する科目」について、下記の条件を満たしているか。

- 当該教科教育法については I・II とも修得した（地理歴史科・公民科・商業科・工業科・農業科・水産科を除く）。
 - ☆印の付された必修科目を漏れなく修得した^(注3)。
- (注 3) 平成 12-21 年度入学者については「教職総合演習」、平成 22 年度以降入学者については「教職実践演習」（平成 25 年度以降開講）が必修科目となる。ただし、平成 12-21 年度入学者のうち、平成 24 年度までに「教職総合演習」の単位を修得しなかった者については、「教職実践演習」の単位を「教職総合演習」に代えることができる。
- （中学校教諭一種免許取得希望の場合）「道德教育論」と「教育実習 I」を修得した。
 - 選択必修科目を漏れなく修得した。
 - （中学校教諭一種免許取得希望の場合）「教職に関する科目」37 単位以上を修得した^(注4)。
 - （高等学校教諭一種免許取得希望の場合）「教職に関する科目」33 単位以上（地理歴史科・公民科・商業科・工業科・農業科・水産科・情報科の場合は 29 単位以上）を修得した^(注4)。
- (注 4) 教科教育法については、当該教科の免許取得に際してのみカウントされる（他教科の免許取得に際してはカウントされない）ので、注意すること。

4. 「教科に関する科目」について、下記の条件を満たしているか。

- ☆印の付された必修科目を漏れなく修得した。
- 選択必修科目を漏れなく修得した。
- 「教科に関する科目」20 単位以上を修得した。

5. 修得単位数の合計について、下記の条件を満たしているか。

- 「教職に関する科目」と「教科に関する科目」を合わせて 59 単位以上修得した^(注5)。
- (注 5) 教科教育法については、当該教科の免許取得に際してのみカウントされる（他教科の免許取得に際してはカウントされない）ので、注意すること。

京都大学教職課程 単位修得状況調査票（農学部 応用生命科学科、 地域環境工学科、食料・環境経済学科、森林科学科、食品生物科学科）

注1：※の箇所記入して下さい。

注2：申請年度後期履修中の科目は年度に（ ）

※ 入学年 学籍種別（○印）	※ ふりがな 氏 名	※ 免許状の種類	※ 教 科		
学部・修士・博士・ 科目等履修生 年入学		高一種	農 業		
※ 別表第1備考4号確認 (修得済みに○印)	1. 「日本国憲法」2単位以上 2. 「体育」3単位以上修得	3. 「外国語コミュニケーション」2単位以上修得 4. 「情報機器の操作」2単位以上修得			
免許法施行規則に定める科目区分等		※ 単位 小計	※ 修得 年度		
区 分	各科目に含める必要事項	授業科目名 (☆印は必修)	単位 数		
教 職 に 関 す る 科 目	教職の意義等に関する科目	・教職の意義及び教員の役割 ・教員の職務内容(研修、服務及び身分保障等を含む。) ・進路選択に資する各種の機会の提供等	☆教職教育論 2 教職教育 2		
	教育の基礎理論に関する科目	・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	比較教育学概論Ⅰ／ 比較教育学	2	1科目 選択必修
			教育学概論Ⅰ	2	
			教育人間学概論Ⅰ	2	
		・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程 (障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達 及び学習の過程を含む。)	教育心理学Ⅰ	2	1科目 選択必修
			教育心理学Ⅱ	2	
			教育心理学Ⅲ	2	
	・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項	発達教育論Ⅰ	2	特支免と重 複使用不可	
		発達教育論Ⅱ	2		
		比較教育学概論Ⅱ／ 比較教育制度論	教育社会学概論Ⅰ	2	1科目 選択必修
			教育行政学概論Ⅰ	2	
			教育行政学概論Ⅱ	2	
			教育学概論Ⅱ	2	
	民族と教育	2	教職科目と して修得		
	同和・人権教育論	2			
	教育課程及び 指導法に関する科目	・教育課程の意義及び編成の方法	教育課程論Ⅰ	2	1科目 選択必修
			教育課程論Ⅱ	2	
		・各教科の指導法	☆農業科教育法	4	当該教科 教育法に ついては 必修
・特別活動の指導法		☆特別活動の理論と実践	2		
		特別活動論Ⅰ (教育社会学概論Ⅱ)	2		
		特別活動論Ⅱ (教育人間学概論Ⅱ)	2		
・教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を 含む。)		☆教育方法論	2		
		授業心理学Ⅰ	2		
	授業心理学Ⅱ	2			
生徒指導、教育相談 及び進路指導等に 関する科目	・生徒指導の理論及び方法	☆生徒指導論	2		
	・教育相談(カウンセリングに関する基礎的な 知識を含む。)の理論及び方法	☆教育相談	2		
	・進路指導の理論及び方法	☆生徒指導の精神と 具体的方策	2		
総合演習／ 教職実践演習	・総合演習(平成12-21年度入学者)／ ・教職実践演習(平成22年度以降入学者)	☆教職総合演習／ ☆教職実践演習	2		
教育実習	・教育実習	☆教育実習Ⅱ	3	事前・事 後指導1 単位を含 む。	
計		単位			

京都大学教職課程 単位修得状況調 B 票 (農学部 地域環境工学科)

注1：※の箇所記入して下さい。

注2：申請年度後期履修中の科目は年度に ()

入学年 学籍種別 (○印)	※ ふりがな 氏 名	免許状の種類	教 科			
学部・修士・博士・ 科目等履修生 年入学		高一種	農 業			
教 科 に 関 す る 科 目	免許法施行規則の科目名	※単位小計	授業科目名 (☆印は必須)	単位数	※修得年度	備 考
	農業の関係科目		☆農学概論 I	2		
			☆農学概論 II	2		
			地域環境工学概論 I	2		
			地域環境工学概論 II	2		
			大気環境学	2		
			灌漑排水学	2		
			農村計画学	2		
			農地整備学	2		
			水資源利用学	2		
			国土・地域計画	2		
			数理計画法	2		
			農業システム工学	2		
			フィールドロボティクス	2		
			農産物性科学	2		
			生物生産工学実験 I	2		
			生物生産工学実験 II	2		
			土木材料・環境地盤工学実験	2		
			作物学 I	2		
			蔬菜園芸学	2		
			果樹園芸学 I	2		
			農学原論	2		
			食料・環境政策学	2		
			資源環境経済学	2		
			食品工学	2		
		砂防学 I	2			
		土壌学 I	2			
	職業指導		☆職業指導	4		
計 単位						
教 科 又 は 教 職 に 関 す る 科 目			道徳教育論	2		
	計 単位					